



震度とゆれの状況

気象庁では、発表された震度情報が地震防災上有効に活用されるため、震度計により観測された震度と現代社会において実際に発生する現象や被害との対応を解説した、「気象庁震度階級関連解説表」を作成していますのでご活用ください。

詳しい解説は以下の気象庁ホームページに記載しています。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/shindo/kaisetsu.html>

<p>0</p> <p>[震度0] 人は揺れを感じない。</p>	<p>1</p> <p>[震度1] 屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。</p>	<p>2</p> <p>[震度2] 屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。</p>	<p>3</p> <p>[震度3] 屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。</p>
<p>4</p> <p>[震度4]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ほとんどの人が驚く。 ●電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。 ●座りの悪い置物が、倒れることがある。 	<p>6弱</p> <p>[震度6弱]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●立っていることが困難になる。 ●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。 ●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 ●耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> 耐震性が高い </div> <div style="text-align: center;"> 耐震性が低い </div> </div>		
<p>5弱</p> <p>[震度5弱]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。 ●棚にある食器類や本が落ちることがある。 ●固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。 	<p>6強</p> <p>[震度6強]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●はわないと動くことができない。飛ばされることもある。 ●固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。 ●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる。 ●大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> 耐震性が高い </div> <div style="text-align: center;"> 耐震性が低い </div> </div>		
<p>5強</p> <p>[震度5強]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●物につかまらなさと歩くことが難しい。 ●棚にある食器類や本で落ちるものが多くなる。 ●固定していない家具が倒れることがある。 ●補強されていないブロック塀が崩れることがある。 	<p>7</p> <p>[震度7]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。 ●耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。 ●耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多くなる。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> 耐震性が高い </div> <div style="text-align: center;"> 耐震性が低い </div> </div>		

この表は、ある震度が観測された時に、その周辺で発生するゆれなどの現象や被害の目安を示したものです。

